

蔵所写真工芸 ニュース53号

■平成29年2月15日発行

■記事：蔵所／佐藤



■ナイスな家電

冬の寒い日、冷え切った寝室の寝床に入るのには冷たい！こんな時は寝る少し前に、こいつを布団にセットしてスイッチオン。ものの10分もすれば布団はポカポカです。こいつとは先日嫁が購入したアイリスオーヤマの布団乾燥機のことです。基本的にはヘヤードライヤーをパワーアップし、先端に蛇腹のノズルをつけただけの物で、簡単なタイマーと温度設定も付いています。

以前、湯たんぽを使っていたことがありましたが、暖まるのが局所的で、身体の上は冷たく、しかも寝入ってしまうといつのまにか布団の外に蹴り出してしまおうのがオチでした。これはスイッチを入れるとすぐに暖かい空気を吐き出し続けるので、布団全体をすばやく温めることができます。布団に入るのと同時に電源を入れたとしても、冷たさで縮こまることはありません。（「やけどの恐れあり！」なので、メーカーは布団に入ってから使う事を禁止していると思いますが、取説は読んでません。無論、寝入る前には電源オフです。）

アイリスオーヤマと言えば、パナソニックやシャープをリストラされた技術者を迎え入れ、大阪に家電製品の開発拠点を作っていたはずですが、

仕組みは単純ですが、細部まで製品としての完成度が高く、そういった人たちがちよちよいのちよいで作り上げたのかなあ、などと勝手に想像しています。久々に出会ったナイスな家電でした。（蔵所）



稼働中の布団乾燥機。暖まってくるまでお風呂気分。

■前向きにシミュレーション

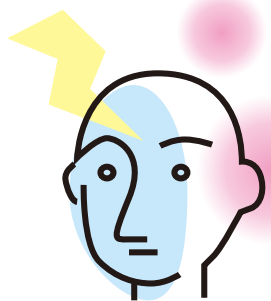
このニュースのコーナーで何度か『映画紹介』の記事を書いてきました。隅々まで読んで頂いている方は薄々お気付きかもしれないませんが、私どももホラーやサスペンスといったジャンルの作品に惹かれる傾向があります。特に「恐がり」というわけでも残虐描写が好物といったマニアでもありません。どのジャンルの作品でも「極端な設定」の物語が好みではありませんが、ホラーに惹かれる理由はそれだけではないようです。

例えばゾンビ映画を観て、「この状況の中に自分がいたらどう考え、どう行動するのか?」、様々な登場人物の言動と感情の機微から「自分はこのタイプに近い人間なのか?最後まで生き延びられるだろうか?」等と想像しシミュレーションすることが楽しみの一つです。こうしてどう云う行動が一番よいかと考えることが癖になっています。

難に仕事を終わらせ、商品を仕上げることは出来ます。多少厳しい納期であっても、ギリギリで間に合わせることも出来るでしょう。

最近、私はこの思考の「癖」を時々振り返ってみます。普通に仕事を成す事は出来ませんが、防衛的な考えではもったいないのではないかと。ここはゾンビのはびこる終末世界ではありません。仕事においても、明るく前向きな姿勢で、より良い商品とサービスを目指すシミュレーションが大切だと思えます。納期より早くあげて喜んでもらう。お客様に要望をプラス扱い易い工夫を込める。なかなか難しいことですが、これが充実した暮らしに繋がっていくのではないのでしょうか。

と云うわけで……もう少し明るい映画も観てみようかな、なんて話でした。（佐藤）



インクジェット サンプル案内

前々回のサンプルでは、インクジェット機の印刷とプロッターによるカットを試みました。その甲斐もあって、サンプルと同じ技術を使った製品を実際に受注し、納品することができました。そこで今回は納品した製品と同様の物をサンプルとして作ってみました。（技術的には同じですが、デザインは弊社オリジナルです。）188ミクロンのPETにインクジェット機で印刷し、プロッターで外形と穴をカットしてあります。LED部とスモーク窓部は、白とカラーのインクを使用して、メジウムとスモーク印刷を再現しました。（実際の製品はメジウムのみでした。）プロッターで製品の端面をカットするためには、伸びのある軟らかいインクを使用しなければなりません。この種の品物は、裏面にシルク糊を印刷する場合があります。軟らかいインクは耐溶剤性がなく、懸念材料の一つでした。しかしその問題もなんとかクリア。インクジェット印刷は制約が多く、活躍の場を広げるのが難しいのですが、少しずつ広がっていかれると思っています。（蔵所）



材 料	PET
印 刷	UVインクジェット 印刷解像度600dpi
材料前処理	なし
印刷後処理	なし
密着状態	良好（クロスカットOK）